

大阪音楽大学

2025年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（合計20単位）

担当教員名	区分	科目名	単位数	授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
江南泰佐	一般教育	メディア論入門	2	多年にわたりラジオ放送の企画、台本作成、DJに携わった経験に基づき、アート、メディアアート、社会学などを横断しながらメディアのイメージをつかみ、音楽家として表現すること＝自ら情報を発信することについて講義する。
江南泰佐	専門教育 (共通)	メディア論	1	多年にわたりラジオ放送の企画、台本作成、DJに携わった経験に基づき、実際の番組制作のプロセスを基礎知識を踏まえながら演習形式で指導する。
江南泰佐	専門教育 (共通)	音楽ジャーナリズム	1	多年にわたりラジオ放送の企画、台本作成、DJに携わった経験に基づき、音楽ジャーナリズムの流れと現状についての基本事項を踏まえながら学生が音楽批評の特集を企画し、提案・執筆・編集する作業を指導する。
宮岡利行	専門教育 (共通)	ピアノ構造論	2	民間企業に所属する一級ピアノ調律技能士として様々な現場の調律に携わってきた経験に基づき、ピアノの歴史的変遷やその構造・機能等について演奏者技術の向上に役立てることができるよう講義する。
梅田裕子	専門教育 (共通)	音楽療法概説 I	2	兵庫県立こども病院等において音楽療法士として活動している経験から、音楽や医学の歴史的関係、音楽の様々な作用とそれぞれの治療理論を講義する。また、様々な実践現場を紹介する。
梅田裕子	専門教育 (共通)	音楽療法概説 II	2	兵庫県立こども病院等において音楽療法士として活動している経験から、高齢者、精神障がい者、障がい児と病弱児、リハビリなど、各々の疾病や障害について、また音楽の使い方について講義をし、それぞれの対象者への音楽療法に対して理解を深めるよう指導する。
梶田美奈子	専門教育 (共通)	音楽療法概説 I	1	多年にわたり、リハビリテーション病院音楽療法士として、また地域ボランティアとしてミュージックセラピーを展開してきた経験に基づき、医療やリハビリテーション領域における成人や子どもの音楽療法について紹介する。
梶田美奈子	専門教育 (共通)	音楽療法応用技法	1	多年にわたり、リハビリテーション病院専門職として、また地域ボランティアとしてミュージックセラピーを展開してきた経験に基づき、地域社会が求めている音楽療法の需要を踏まえながら、様々な人の身体・心理的・社会復帰の目的に応じた音楽療法の技法のあり方を指導する。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法A	2	障害者支援施設や就学前の子ども、高齢者デイケアセンターで音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、受講者が乳幼児・学齢期・青年期の子どものころや身体の発達、高齢者の心理、また、障害や疾病について理解を深めるよう指導する。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法B	2	障害者支援施設や就学前の子ども、高齢者デイケアセンターで音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、受講者が音楽療法を「音楽を用いた心理療法」ととらえ、心理療法としての視点から理解できるよう指導する。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法C	2	障害者支援施設や就学前の子ども、高齢者デイケアセンターで音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、受講者が対象者別音楽療法の実際について事例を通して理解できるよう指導する。また、ロールプレイなどを通してその理解を深めるようにする。
河村美帆	専門教育 (共通)	音楽療法D	2	障害者支援施設や就学前の子ども、高齢者デイケアセンターで音楽療法を行ってきた経験や、臨床心理学的視点に基づき、歌や曲を用いるときに「何を」「如何に」演奏していくかを具体的に理解できるよう指導する。また、音楽療法を実践するにあたっての留意点、倫理などを講義する。